

畜試 ニュース

Technology News and
Information of Hokkaido
Animal Research Center



めん羊の放牧

ご挨拶

BSEの発生や不当表示問題などが相次ぎ本道畜産は大きな打撃を受けましたが、関係者の努力が実り、畜産物の生産・消費もようやく回復しつつあるようです。しかし、消費者全体の安全・安心への関心は高く、道産畜産物のゆるぎない信頼を獲得するために、トレーサビリティを基調に、環境にやさしく、身近な自給飼料を使い健康面で何ら心配のない生産・流通システムを確立するため、さらに関係者一丸となった取り組みが必要です。

これまで当場は「黒毛和牛の優良種雄牛」「道産牛の肥育マニュアル」「バイオ・ゲノム技術の応用」「疾病予防・診断」「簡易ふん尿処理施設」「牧草類の栄養評価」などで着実に成果を挙げることができました。今後もこれらの成果を土台として、「家畜ふん尿の利用を基軸とした耕畜連携の自然循環型農業」、「消費者の信頼に応えるクリーン畜産」「粗飼料・地域副産物の高度利用」に力を入れたいと考えています。

新技術の導入はじめ、畜産に関することは何でもどうぞお気軽にご相談下さい。

▪ (場長: 田村千秋)